

## 西部ガスの再生可能エネルギー事業について

### 1. 西部ガスの再生可能エネルギー事業への参入について

西部ガスは、2012年4月2日付で再生可能エネルギー事業を担う「エネ・シード株式会社」を設立し(西部ガス100%出資)、2012年度から太陽光発電事業に参入、2015年度から風力発電事業に参入しています。

西部ガスグループは、「総合エネルギーサービス企業グループ」を目指しており、コア事業である天然ガスの普及拡大を行うとともに、太陽光発電をはじめとする再生可能エネルギーの普及にも努め、「エネルギーセキュリティ向上(分散化・多様化)」と「環境負荷低減」に貢献していきます。

#### ＜エネ・シード株式会社の概要＞

(2019年7月1日時点)

名称	エネ・シード株式会社
所在地	福岡市博多区千代一丁目17番1号
設立年月日	2012年4月2日
資本金	1億円(西部ガス株式会社100%出資)
代表者	代表取締役社長 有吉 雅英
事業内容	再生可能エネルギー等による発電、 電気の供給・販売事業

### 2. 西部ガスグループの太陽光発電事業の概要

福岡県大牟田市、北九州市、長崎県長崎市において、7カ所で太陽光発電事業を行っており、発電した電力は新電力、九州電力に売電しています。

また、当社グループの太陽光発電事業については、事業ごとに最適なスキームを検討し、他事業者との共同事業形式(共同出資して事業会社を設立)、もしくは当社グループの単独事業形式での取り組みを行っています。

#### (1) エネ・シード(株)による太陽光発電事業

エネ・シード(株)は、「エネ・シード響南太陽光発電所」と「エネ・シード北九州第2発電所」に加え、2019年7月1日付けでエネ・シードNOK(株)を合併し、同社が運用していた「エネ・シード北九州太陽光発電所(1.8MW)」(北九州市若松区響町)、「エネ・シード長崎太陽光発電所(1.5MW)」(長崎市小江町)、「エネ・シード大牟田太陽光発電所(1.3MW)」(大牟田市新港町)、「エネ・シード吉志太陽光発電所(2.3MW)」(北九州市吉志新町)の事業を継続します。

《エネ・シード大牟田太陽光発電所の概要》

施設名称	エネ・シード大牟田太陽光発電所
建設地	福岡県大牟田市新港町1-269(九州ガス圧送(株)大牟田工場の敷地内)
敷地面積	約1万5千m <sup>2</sup>
運用開始	2012年9月
発電規模	1.3MW
年間発電量	127万kWh/年(一般家庭約350戸の年間電力使用量に相当)
太陽光パネル	シャープ(株)製 約5,400枚
投資額	約3億5千万円

《エネ・シード長崎太陽光発電所の概要》

施設名称	エネ・シード長崎太陽光発電所
建設地	長崎県長崎市小江町2734-6(西部ガス長崎工場の敷地内)
敷地面積	約2万4千m <sup>2</sup>
運用開始	2012年10月
発電規模	1.5MW
年間発電量	176万kWh/年(一般家庭約480戸の年間電力使用量に相当)
太陽光パネル	ソーラーフロンティア(株)製 約9,700枚
投資額	約4億4千万円

《エネ・シード北九州太陽光発電所の概要》

施設名称	エネ・シード北九州太陽光発電所
建設地	北九州市若松区響町1-26(西部ガス北九州工場跡地の敷地内)
敷地面積	約2万2千m <sup>2</sup>
運用開始	2012年12月
発電規模	1.8MW
年間発電量	188万kWh/年(一般家庭約520戸の年間電力使用量に相当)
太陽光パネル	ソーラーフロンティア(株)製 約12,000枚
投資額	約5億円

《エネ・シード吉志太陽光発電所の概要》

施設名称	エネ・シード吉志太陽光発電所
建設地	北九州市門司区吉志新町4-1
敷地面積	約2万8千m <sup>2</sup>
運用開始	2014年3月
発電規模	2.3MW
年間発電量	242万kWh/年(一般家庭約670戸の年間電力使用量に相当)
太陽光パネル	長州産業(株)製 約8,800枚
投資額	約5億6千万円

## 《エネ・シード<sup>きょうなん</sup>響南太陽光発電所の概要》

施設名称	エネ・シード響南太陽光発電所
建設地	北九州市若松区響南町6-1
敷地面積	約2万2千m <sup>2</sup>
運用開始	2013年7月
発電規模	1.7MW
年間発電量	164万kWh/年(一般家庭約460戸の年間電力使用量に相当)
太陽光パネル	シャープ(株)製 約6,900枚
投資額	約4億5千万円

## 《エネ・シード北九州第2太陽光発電所の概要》

施設名称	エネ・シード北九州第2太陽光発電所
建設地	北九州市若松区響町1-26(西部ガス北九州工場跡地の敷地内)
敷地面積	約2万8千m <sup>2</sup>
運用開始	2015年12月
発電規模	2.4MW
年間発電量	250万kWh/年(一般家庭約700戸の年間電力使用量に相当)
太陽光パネル	シャープ(株)製 約9,500枚
投資額	約6億2千万円

## (2)「エネ・シードひびき株式会社」による太陽光発電事業

エネ・シードひびき(株)は、エネ・シード(株)と「AGC株式会社」が共同出資して設立した事業会社です。

同社は、北九州市響灘地区にあるAGC(株)の所有地(北九州市若松区向洋町)において、大規模太陽光発電所「エネ・シードひびき太陽光発電所(22.4MW)」を運用しています。なお、同太陽光発電所の発電規模は、当社グループでは最大となります。

### <エネ・シードひびき(株)の概要>

名称	エネ・シードひびき株式会社
所在地	福岡市博多区千代一丁目17番1号
設立年月日	2012年12月20日
資本金(出資割合)	1億円(エネ・シード(株)51%、AGC(株)49%)
代表者	代表取締役社長 西田 和則
事業内容	太陽光発電事業

### 《エネ・シードひびき太陽光発電所の概要》

施設名称	エネ・シードひびき太陽光発電所
建設地	北九州市若松区向洋町18-1
敷地面積	約27万6千m <sup>2</sup>
運用開始	2014年10月
発電規模	22.4MW
年間発電量	2,300万kWh/年(一般家庭約6,400戸の年間電力使用量に相当)
太陽光パネル	三菱電機(株)製 約88,300枚
投資額	約67億円

### 3. 西部ガスグループの風力発電事業の概要

当社グループの風力発電事業は、エネ・シード(株)と、「日立ウィンドパワー株式会社<sup>(※)</sup>」が共同出資(エネ・シード:66%・日立ウィンドパワー:34%)し、2015年9月29日付けで設立した事業会社「エネ・シードウィンド株式会社」が担い、「エネ・シード北九州風力発電所」を運営しています。

同風力発電所は、株式会社日立製作所製の2.0MWの風車2基(合計4.0MW)を設置し、2017年3月に運転を開始しました。

<※>日立ウィンドパワー株式会社は、日立キャピタル株式会社(85.1%)と株式会社日立製作所(14.9%)が共同出資した、風力発電事業者です。

#### <エネ・シードウィンド(株)の概要>

名称	エネ・シードウィンド株式会社
所在地	福岡市博多区千代一丁目17番1号
設立年月日	2015年9月29日
資本金	1億円(エネ・シード(株)66%、日立ウィンドパワー(株)34%)
代表者	代表取締役社長 西野 邦浩
事業内容	風力発電事業

### 《エネ・シード北九州風力発電所の概要》

施設名称	エネ・シード北九州風力発電所
所在地	北九州市若松区響町1-26(西部ガス北九州工場跡地の敷地内)
敷地面積	約2万m <sup>2</sup>
運用開始	2017年3月
発電規模	4.0MW
年間発電量	800万kWh/年(一般家庭約2,500戸の年間電力使用量に相当)
風車	(株)日立製作所製 2.0MW × 2基
投資額	約12億円

# 《参考資料:別紙》

【ご参考】 西部ガスの再生可能エネルギー事業のスキーム図 (2019年7月1日現在)

